

# 設計開発における技術の可視化と設計改革の方法論

～ナレッジの体系化・技術伝承、設計標準化の失敗原因とは～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 12月 5日(木) 10:30~16:30

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【開催にあたって】

多くの企業では多数のベテラン技術者が定年退職を迎えようとしています。そのため、ベテラン技術者のノウハウを可視化し、伝承・活用することが重要な経営課題となっています。しかし実際には『属人的な設計から脱却できない』『ベテランのノウハウを共有できない』といった問題が発生しており、対応が求められています。また、多忙な技術者には技術伝承の取り組みに割く時間も限られており、効率的な取り組みを行わねばなりません。さらにノウハウは洗い出すだけでは意味がなく、活用して初めて効果が得られます。ノウハウは活用すること、改定することが最も重要となるのです。本講義では、技術者が現業を持ちながら、限りある時間でノウハウの可視化を行うためのポイントを順次解説します。また、ナレッジは技術伝承させるだけでなく、設計業務改革に有効な情報です。ナレッジを設計標準化・高度化、設計システムの構築への活用についても解説します。

講師 株式会社プリベクト 代表取締役 北山 一真 氏

IT系コンサルティング会社、製造業系コンサルティング会社ディレクターを経て、2010年にプリベクトを設立。競争力ある製品、もつかる製品の実現のため、設計と原価の融合をコンセプトにした企業変革に取り組み。業務改革の企画・実行、IT導入まで一貫して企業変革の実現を支援。設計高度化、設計ナレッジマネジメント、製品開発マネジメント、原価企画、原価見積、開発購買、ライフサイクルコストニング、意思決定管理会計、BOM、3DCAD、PLMなどのコンサルティングを手がける。【著書・執筆】『赤字製品をやめたら、もつと赤字が増えた！儲かる製品を実現するコストマネジメント』日刊工業新聞社、『プロフィットブル・デザイン iPhone がもつかる本当の理由』(日経BP社)

【申込方法】 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

|     |                       |    |                       |
|-----|-----------------------|----|-----------------------|
| 正会員 | 41,800円(本体価格 38,000円) | 一般 | 46,200円(本体価格 42,000円) |
|-----|-----------------------|----|-----------------------|

|   |  |             |  |
|---|--|-------------|--|
| 191712-0101 (※) 設計開発における技術の可視化と設計改革の方法論 |  |             |  |
| ふりがな<br>会社名                             |  |             |  |
| 住所                                      |  |             |  |
| TEL                                     |  | FAX         |  |
| ふりがな<br>ご氏名                             |  | 所<br>役<br>職 |  |
| E-mail                                  |  |             |  |

※申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申し込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])  
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail:tamiaki@bri.or.jp  
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F 【DM変更連絡】03-5215-3514

## ・プログラム・

### 1. 技術伝承の難しさ

- (1) ナレッジとは何か?可視化するとはどういうことか
- (2) 技 なぜナレッジやノウハウ可視化の難しいのか
- (3) ナレッジをビジネス拡大に結びつけるために

### 2. 技術の可視化

- (1) 様々な視点で設計や技術を可視化する
  - a. 業務フローの可視化
  - b. 技術諸元の可視化
  - c. 設計ノウハウの可視化
- (2) 技術の整備方法
  - a. 文書形式の整備方法
  - b. 表形式の整備方法
- (3) 忙しい中でナレッジを可視化する方法

### 3. 技術の伝承・活用・改定・定着

- (1) 設計マニュアルを整備しても活用できない理由
- (2) 設計マニュアルが使われない理由
- (3) ナレッジは改訂こそが全て 改訂運用のコツ
- (4) 開発 BOM と設計諸元表の作成のコツ

### 4. 設計ナレッジと設計標準化

- (1) 標準化が失敗する理由と、成功に向けての標準化コンセプト
- (2) 設計思想の標準化を目指す
- (3) ナレッジマネジメントシステムのポイント
- (4) ナレッジを設計の自動化に活かす

※講師とご同業の方は受講をお受けし兼ねる場合がございます。予めご了承ください。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。